

一三三〇番

みなぶち 南淵の 細川山に 立つ檀 弓束巻くまで 人
に知らえじ

一三三一番

いはたみ 岩置 かしこ 恐き山と 知りつつも 我は恋ふるか
なみ 並ならなくに

一三三二番

いはね 岩が根の ころしき山に 入りそめて 山なつか
しみ 出でかてぬかも

一三三三番

さほやま 佐保山を おほに見しかど 今見れば 山なつか
しも 風吹くなゆめ